

u.DC
92963

昭和十九年九月

陣

中

日

2236022360

誌

第百師團獨立步兵第百十隊第一中隊

0978

九月一日

金曜

晴

於ツマゲテ

主要事項

一中隊長ハ尾作命甲第二十四號第二項ニ基キ「シキホール」島分屯
隊兵力増強、タメ中隊ヨリ藤軍曹以下八名（擲彈筒一携行衛
生兵一名含）及銃砲隊友田軍曹以下七名隊長傳令並警警乘
「タメ」上伍長古賀兵長ヲ指揮シ「ハロー」ツマゲテ「出港」一。
「ラレナ」着

分屯隊長浜崎曹長及日本鑛業株式會社大同貿易株式會社
ノ首腦者ト會シ次ノ情況ヲ聞ク

七月二十四日以来「バザン」附近狀況悪化シ同地周邊ノ住民及日鑛
従業員ノ逃走スルモノ多ク八月二十九日より三十日夜ニ亘リ従業員
大部ハ逃走シ出勤スルモノ全従業員ノ三割程度ナルモ従業員中ノ
有力者特殊技術者ナキヲ以テ休業ハ休止ノ狀態ナリ軍、日鑛對
スル命令ハ九月、十月、十一月ニ滿掩礦ヲ六千六百噸ヲ必ス積出セト
事ナルモ現在ハ所鑛山ニ發掘スルモノ約五千噸アリ然レ共前記ノ

0979

狀況ニテ運搬シ得ス

本一日朝方時ハサツノ今北探哨福島兵長以下五名ハツカルバイニ銃
約十挺ヲ有ル敵約七十名ヲ襲撃ヲ受ケタルモ克ク哨所ヲ固守シタリト
尚上民言依レハ本日午前ヲ以テハサツノ中間地區ニ敵匪約一〇名
集結シアリト

石ニ依リ中隊長ハ直ニ討伐スルニ決シ一三三〇浜崎曹長以下二十名
ヲ指揮シ出發シ敵ハ既ニ退散シアリタルヲ以テ一五三〇ハサツノ南
方高地ニ進出シタリ此ノ時敵匪約十名退走中アルヲ認メ攻撃シタ
ルモ敵ヲ逸ス初テハサツノニ引返シ同地ニ藤軍曹以下二名
ヲ残置シ陣地構築其他ノ指示ヲ與ヘハ〇〇出港ヲツマゲテ
ニ二一〇〇取着ス

此ノ時先月「サシフアン」町ヲ敵ヲ襲撃シタル際敵ニ通シアリタル
岡野町長及自警團長トシキホル町居住元米人將校ノ妾ニテ
敵ト通シタル婦人ヲ逮捕シアリタルヲ以テ連行シ本部情報係

山田中尉ニ引渡シタリ	二補充員教育係要員トシ	病氣受診ノタメ	右シキホルル令屯隊勤務中ノ處第一項中隊長ト共ニ中隊復飯人 至一三〇〇間丸岡軍曹以下八名各令屯隊糧秣配給ヲ實施ス 四九月一日現在中隊警備地區兵力配置別紙第一第二及左ノ如シ	中隊人員配置	トマケテ	先雄兵長豊田継雄上等兵中村鼎	バイス防衛隊 坂本中尉以下四名(別ニ本部通信手三名)	シヤト防衛隊 松本少尉以下二四名(別ニ本部通信手四名)	シキホル防衛隊 沢崎曹長以下二一名(別ニ本部通信手二名銃砲 除リ大隊砲一分隊友回軍曹以下七名)	シブシン防衛隊 永畑曹長以下二一名
------------	-------------	---------	--	--------	------	----------------	----------------------------	-----------------------------	--	-------------------

ハリンビン分屯隊 藤崎伍長以下七名	セブ旅團司令部へ對空對戰車等教育並檢閲、夕メ派遣	水村軍曹以下九名	水上勤務隊 坂田伍長以下五名	本部勤務 清原軍曹以下七名	大林隊勤務 中島衛生兵	院 四名 山本中尉、谷岡上等兵、佐藤上等兵（退院、旨通知アリタルモ未取隊）齊藤兵長	備考	一、最初編成當時ヨリ成	102師團司令部轉屬三名（野田正一、古沢軍兵、續永）	18旅團司令部轉屬三名（荒木孝行、小川初雄、平野鶴義）	戦 死二名（増田勝、田斐津々喜）	内地還送一名（永田靖則）
-------------------	--------------------------	----------	----------------	---------------	-------------	---	----	-------------	----------------------------	-----------------------------	------------------	--------------

東京・奥谷納

0982

陸軍		命令		月々	
陸軍兵長		西山 孝次		同	
同		菅原 丑男		同	
同		中川 茂雄		同	
任陣陸軍兵長		(九月一日附)		現在人員	
一現在員一五八名		二内		二内	
譯中隊將校三		下士官二〇		兵二九	
計一四二名		配屬		下士官一	
兵一五		計一六名		尾作命甲第二四號拔萃	
(八月三十一日)		一部隊ハ一部ヲ以テ「シキホル」島ノ守備ヲ強化セントス		二小田隊長ハ歩兵一〇分隊輕迫撃手砲一〇分隊ヲ併ヒ指揮	
シ明九月一日「シキホル」島ニ前進シ右兵カヲ浜崎曹長ノ		指揮ニ入ラシムルト共ニ之ガ配備ニ関シ指導ヲナシタル上速ニ			

0983

	ツマゲテニ歸還スル
	細部ニ関シテハ口達ス
	三、銃砲隊長ハ明九月一日早朝ツマゲテ榎橋ニ於テ輕迫撃
	砲ヲ分隊ノ小田隊長ノ下ニ差出スハシ
	四、浜崎曹長ハ石兵ヲ併ニ指揮シ依然現任務ヲ續行ス
	ハシ
	細部ニ関シテハ小田隊長ヲシテ指示セシム
九月二日	主 要 事 項
土曜	一、補充員當部隊ニ補充サレ中隊ノ配當教育割當約六ノ名トノ報
晴	ニ接シ全カヲ以テ終日兵舎ノ設備ヲ行フ
於ツマゲテ	二、一〇五部隊長當地附近地形偵察ノタメ來隊セラル
分北隊	部隊長注意事項要旨（陣地構築並ニ諸準備ニ就テ）
	日々命令
	十、小隊長 陸軍曹長 合 村 南

原簿、與谷納

0984

陸軍		一免 陸軍軍曹 志柿助則		命令 藤達也		頭書ノ通り陸軍主計少尉大河原重男所屬復分任官ヲ免命人		九月三日		日曜		晴		於ツマゲテ	
主要事項		一尾家部隊補充兵六名六三〇ツマゲテ港到着旨本部ヨリ電話アリタルニ依隊長及志柿軍曹岡山兵長受領ニ行ハ小田隊長教育担任スル左記四名ヲ受領シ桑幡隊兵舎ニ收容ス		官氏 名官氏 名官氏 名		第三義勇隊 紀一 義櫻澤隆重 義増田万吉		三 神山富治 田倉正治 石垣喜三		班 塚田伊三郎 柳川門三 青木不二太郎		島田利男 山崎義雄 瀨中喜一郎		高野治信 山崎永三 松本治郎	

0985

一今朝到着ニ補充員八名乗幡隊ニ於テ起居シ之カ内務指	日々命令	二四〇〇リ尾衆部隊長ニ騎當千ノ標柱ニ揮毫ヲ依頼ス	第				龍澤興助		栗
			加藤利佐吉				栗	都築光次郎	栗
二今朝到着ニ補充員八名乗幡隊ニ於テ起居シ之カ内務指	日々命令	二四〇〇リ尾衆部隊長ニ騎當千ノ標柱ニ揮毫ヲ依頼ス	川田元一郎				綿貫藤吉	川田	孝
			金子金十郎				今井	博	孝
三今朝到着ニ補充員八名乗幡隊ニ於テ起居シ之カ内務指	日々命令	二四〇〇リ尾衆部隊長ニ騎當千ノ標柱ニ揮毫ヲ依頼ス	佐藤八郎				春山萬作	吉澤榮助	孝
			金子良榮				新井三太郎	平岡長治	孝
四今朝到着ニ補充員八名乗幡隊ニ於テ起居シ之カ内務指	日々命令	二四〇〇リ尾衆部隊長ニ騎當千ノ標柱ニ揮毫ヲ依頼ス	齊藤直一				岸克嘉	平野佐一	孝
			愛波 茂				小林竹次	三上秀吉	孝
五今朝到着ニ補充員八名乗幡隊ニ於テ起居シ之カ内務指	日々命令	二四〇〇リ尾衆部隊長ニ騎當千ノ標柱ニ揮毫ヲ依頼ス	双木良雄				岩上喜三郎	大野喜太郎	孝
			栗				栗	栗	栗

0986

陸軍		導ニ関シテ桑幡隊長其ノ責任人ヘシ									
		之ヲ教育訓練ハ榎園中尉担任人ヘシ									
		尚小田隊長ハ一部ノ訓練ヲ担任スルモノトス									
		ニ補充員教育ノタテノ通り助教助手ヲ本三月ヨリ教官榎園中尉ノ									
		下ニ差出シ其ノ指示ヨリ教育ニ當ラシムル共ニ教育終了迄桑幡隊									
		ニ於テ起居セシムヘシ									
		小田隊 助教下士官ニ 助手兵四									
		ニ第一中隊 陸軍准尉 都 凡 是 雄									
		石頭書ノ中隊ニ編入ヲ命ス (六月十六日附)									
		中 隊 命 令									
		一陸軍軍曹 八 田 隆 幸									
		同 志 祐 則									
		陸軍兵長 岡 山 勇 吉									
		同 清 崎 辰 彦									

0987

陸軍兵長	凡山	平
同	林	行男
右ノ有補充員教育助教助手ヲ命ス	シヨクシ 防衛隊	一〇四〇四一三三〇三直川浜崎曹長以下五名PC十一名ヲ指揮シカシバ
（ラノ東南方約九軒）附近討伐ヲ行フ戦果ノイカクシト一奉 銃一同彈藥十五發	九月四日	*
主 要 事 項	月曜	一午前中兵舎内諸設備ヲ實施ス
晴	於ツケテ	二〇九〇〇桑幡隊ニ於ケル一騎當千ノ標柱入魂式ニ隊長林 四軍曹參列ス
三一二〇〇「シャ」防衛隊松本少尉以下三十四名同地徹收ツマテ テニ取還中隊復取	四「シャ」防衛隊交代要員シ派遣中ノ渡辺隊山田中尉以下十 大名前項同様同地ヲ徹收ツマテニ取還ト同時富中隊中	

東京・奥谷納

0988

隊長ノ指揮下ニ入り小田隊兵舎ニ宿營ス	五三〇ヨリ乗艦隊廣場ニ於テ昨日到着セリ補充員ノ入隊式ヲ施行セリ隊長及今村曹長以下十五名出場ス	日々命令	一小隊長 陸軍曹長	分隊長 陸軍勲長	全上等兵	全	右ノ者「セ」防衛隊ニ分遣シ命ス依而明日連絡船ニ依リ出發スヘシ	九月五日	主要事項	火曜	晴	於ツマゲテ
一前日リ命ニ據リ今村曹長以下四名「セ」防衛隊要員トシテ連絡船五九丸ニ依リ「セ」ツマゲテ港ヲ出帆ス（尚別紙ニ尾京部隊内事兵大者ヲ加ヘ今村曹長以下十名トリ）			今村 尚	菅原 丑男	江口 一恵	佐伯 光雄						

0989

陸 軍	九月六日	主 要 事 項	水曜	晴	於ツマケテ
					一部隊長來隊シ日朝點呼後ノ訓練狀況ヲ視察シタル後全員驅歩 デ以テ桑幡隊ニ集合セシメ左記要旨ノ訓話アリ ノ朝ノ零細ナル時間ヲ有効ニ利用シ訓練ノ成果ヲ擧ゲヨ 之、補充兵教育ハ直ニ戰鬪シ得ル兵ニ早ク作リヒケヨ ニ午前中一騎當千ノ家標柱建設準備並ニ舍内外整頓等實 施中ニシテ命ニ依リ下士官以上桑畑隊ニ集合補充員ノ射撃 (伏射)教育ヲ見學シタル後部隊長ヨリ本部各隊下士官以上ニ 對シ左記要旨ノ訓話アリ ノ衛兵勤務ノ外來者取扱ニ就テ ノ幹部ノ指導法ニ就テ 教練場往復ノ時間ヲ利用地形ニ 依リ計畫ヲ立案セヨ 兵ニ般ニ自習ヲサシメ通確ナル動作ヲ ナス如ク指導シ教官助教ハ個々教育ノ主トス 3 内務ノ教練ノ一體ニ就テ

0991

	三午後一騎當千、家標柱建立並對空壕構築一部ヲ以テ
	兵舎修築作業
	四本日會報ニ依リ補充兵教育隊ヲ訓練隊ト呼稱スルコトニ定ムラル
	五バリンビン分屯隊田尻上等兵以下三名ツブラン分屯隊原田軍曹
	以下三名連絡、タミ來隊ス
六入量	マリア殿 兵長 安武 亨
	上等兵 朝谷 茂
	立岩惣吉
九月七日	主 要 事 項
木曜	一、ロハッリ一騎當千、家標柱入魂式ノ執行ス
晴	部隊長 情報係 山田中尉 桑畑隊長 臨席セル
於ツマケテ	式次第
	一、同整列 部隊長ニ敬禮
	二、隊長 標柱建設ノ趣旨ニ就テ

三、地鎮祭入魂式一同敬禮

四、部隊長訓示

五、隊長誓詞

六、一同敬禮

七、解散部隊長敬禮

二、一〇〇〇リ都丸准尉指揮シ兵舎ノ改造及農園ノ手入

三、本日「ヒサヤ」地区對シ警戒警報發令セラル

四、大休隊衛生一等兵

松永辰雄

五、石本部勤務中、處九月七日附、田隊配屬ヲ命セラル着隊ス

五、六〇〇隊長部隊長ト共華僑ノ招待會ニ出席

六、二〇〇〇隊長比島側憲法發布記念式ニ出席

九月八日

主 要 事 項

金曜一〇六〇非常出勤ノ命ニ依リ隊長以下三名直ニ整列シ桑幡隊ニ

於ツマケテ至リ部隊長ノ指揮下ニ入ル

0993

大詔奉戴日大詔奉戴式後状況ヲ示シテ戰備行軍(ツマ ケテ南側地区及斥候傳令ノ演習ヲ行ヒテ終レ									
二將校及勤務ニ支障ナキト上官ハ本部將校集會所ニ集合先般 副官會議事項傳達アリ									
三三三三三將校ハ將校集會所於テ防空規程ノ説明及戰訓 運報ノ説明アリ									
四午前十時共兵會改造兵宜移轉									
五渡辺隊山田小隊		上等兵		橋本辰義		山辺孝良		橋本昇	
六夕食中ノ處本日退堂山田小隊ニ復取付中隊ニ來ル									
六夕食中下士官以上ノ會食ヲ行ヒ部隊長及副官臨席セラル									
七三〇隊長ハ部隊長ノ許ニ至リ部隊長明九日ヨリ旅團司令 部へ出張スル付不在間ハスル方面討伐ニ関スル指示ヲ受ケタリ									

東京・奥谷勉

0994

ベリビ 分屯隊	ハ、九〇ヨリ約三十分開敵匪約十名ヲ射撃ヲ受ク
ハイス 防衛隊	九、セントラル住民、流言ニ依リ敵匪約五〇ノ兵カラ以テ、ハイス地區各
シボル 防衛隊	分屯隊ヲ燒討ス行フコトナレト變化シ
シボル 防衛隊	五、浜崎曹長部下十八名及十四名ヲ指揮シ、カンコマントン「ラシ」附近
九 月 九 日	討伐ヲ行フヨリ五ヨリ出發九日ニ至リ敵着戰果ヲノ器械一
主 要 事 項	
土曜	一、午前中一部兵室、改造對空壕、築農園蔬菜稻種ヲ行フ
晴	二、都九准尉以下二十名尾作命甲第二八號ニ依リ「ルスリヤグ」ハコン
於ツリテ	方面討伐ヲシ、桑幡隊長ノ指揮ニ入り自動貨車ニ依リ五〇
	出發「ルスリヤグ」分屯隊ニ宿營シ同夜下士官以下六名ノ潜伏
	斥候ニ組テ附近部ヲ派遣警戒ス
	三、五ヨリ「明中村」軍曹以下六名右自動貨車警乗リテ服務ス
四退室	五等兵
	立 岩 惣 吉
	瀬 谷 茂

0995

しりし日	主 要 事 項
日曜	一、都凡雅尉以下、討伐隊ハ、四ノッルスリヤリ、今也隊出發北、約四ノッ
晴	ホノボノ部落、夜襲、同地別莊、ヤ空、家屋七棟ヲ焼却シ、ノル
於ツマケテ	後、同地ヲ撤退シ、ノルスリヤリ、ハ、コ、ノ、間、ヲ、掃蕩シ、ハ、コ、ノ、ヲ、終、テ、大、ノ、
	取隊ス
	二、本日訓練隊補充員兵、ハ、コ、ノ、方面討伐、際、今隊長要員トシテ中 村軍曹ヲ派遣ス、大、ノ、出發、一、五、ノ、取隊ス
	三、ハリ、ビ、ノ、今也隊ニ輕機関銃ヲ支給スルヲ、吉川軍曹以下大、ノ、
	裝甲自動車ニ依リ差出ス、一、五、ノ、出發、一、八、ノ、取隊ス
	四、フ、ヤ、ホ、ル、今也隊兵長大倉正由様突起、大、ノ、疑、ニ、テ、鬼田兵長
	以下三名ヲ日曠輸送船ヲ借り、中隊ニ連行シ、來ルヲ、以、テ、大、倉
	兵長ハ、直、テ、入、室、セ、シ、ム
ハリス 防衛隊	五、フ、セ、ノ、トラ、ル、製紙工場ニ對シ敵匪数名射撃シ、來レセ、凡、岡 軍曹以下八名ヲ直ニ派遣シ、テ、擊、退、ス

東京・奥谷納

0996

六尾作命甲第三十七號ニ依リ「ハリス」附近討伐ニ関シテ記命令ヲ下シ
「ハリス」坂本中尉ニ對シ討伐ノ計画ヲ立案スル如ク電報ス

中隊命令

「ハリス」附近ノ敵ハ最近食料獲得及治安攪亂ニ精活シ
計ルモノ如シ

ニ中隊ハ桑幡隊附一小隊及本部警乗兵一〇名ヲ含ムハ九月
八日尾作命甲第三十七號ニ基キ明土日ツツケテ出發「ハリス」
附近ノ敵ヲ撃滅掃蕩セントス

「ハリス」分屯隊坂本中尉ハ最小限ノ人員ヲ以テ警備ニ任セ
シテ殘餘ノ余ヲ「セトラル」到着ニ同時ニ討伐隊ニ参加スベシ
四服裝ハ軍裝ニシテ背囊被甲ヲ除キ天幕ヲ携行スベシ
五給養及食ヲ炊事ヲ携行帶口糧ヲ一日乙一食分携行スベシ
六其他細部ヲ開シテハ口達ス

第一中隊長 小田中尉

九月十一日	主 要 事 項
月 曜	一 前日中隊命令ニ基キ「ハス」討伐ノタメハ「ハ」出發準備完了シ 「ア」クル處「フ」出張中、部隊長ヨリ電報ニ基キ留守隊長桑 幡中尉討伐中止ヲ命令セラレ
晴	二 午前午後共ニ對空射撃設備 對空壕ノ強化ヲ行フ
於ツマゲテ	三 三〇ヨリ小田隊「フ」ラン「開」電話不通討 通信信班永木 軍曹以下七名ニ依リ補線並ニ電話機ノ修理ヲ行フ掩護タ 鬼塚軍曹以下二名差出ス此ノ自動車ヲ利用シ「フ」ラン「分」
	隊中村靜彦、高大四郎兩上等兵ヲ「ツ」マゲテ「飯」還セシメ 大森久喜、荒木カ造 兩一等兵ヲ分屯隊ニ派遣支隊代服務 セシ「尚」同分屯隊ニ輕機一酒保、附加給品等ヲ携行支給 シ「九」〇「飯」隊ス
	四 中隊長前頃作業隊ト同行シ「フ」ラン「分」屯隊員一同討シ平 常部隊長訓示並ニ注意事項ヲ傳達ス

東京 小津鶴

0998

四夜間下士官以下五名ノ巡察四組ヲ派遣シ市内ノ警戒並ニ住民動靜ニ注意セシム	五 陸軍軍曹	衛生上等兵	右ノ者事務連絡ノ為セテ出張定期連絡船ニ依リロルハ	フデテ出帆シ一ロシキボール島ヲトテ着同地今出隊ニ連絡ノ為上	陸中敵機ノ襲撃ヲ受ケタルモ同連絡船ハ被害ナク他ノ船	自ニ戦死三名負傷十五名アリ之ヲ以テ村山上等兵ハ之ヲ看護	ニ任シセリ	六 入院（肺浸潤）	上等兵 中村 鼎	七 渡辺隊（山田小隊）	伍長 大石 二郎	八 セテ陸軍病院入院中ノ處退院取隊シ中隊ニ到着ス	九 本部兵器班ヲ彈藥分散ノタメ自働貨車ニ輛中隊運搬ス	九 六三——セリ敵飛行機約三機ノ來襲アリ防衛隊ハ被害	防衛隊
---	---------------	--------------	---------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--------------	------------------	-----------------	--------------------	-----------------	---------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	------------

東京小津橋

1000

陸軍

被害ナキモ碇泊中ノ船舶三隻炎上シ戦死者三名負傷十五名ヲ出セリ

戦死傷

本日セフニ於テ敵機多数ノ来襲アリセフ防空隊ニ分遣中ノ小隊長今村尚曹長石腕重傷菅原丑男伍長戦死佐伯上等兵輕傷セリト(中隊ヨリセフ)入院者中村鼎上等兵ヨリ報告ニ依ル)

九月五日

主要事項

水曜

一金カラ以テ防空壕ノ強化ヲ行フ

晴雨

ニル敵艦上戦斗機六機及艦上爆撃機ノ連合約一五〇機

於ツマケテ

東方ヨリ来襲一時四二五リ前日同様銃爆撃ヲ行ヒ東方ニ退去

空襲

ス尾根部隊各隊共被害ナン 尚一五五ニ敵機六機南方ヨリ

侵入ツマケテ市及東方海面上空ヲ約二〇分旋回シ東方ニ去ル

三二〇松本少尉以下三名飛行場附近ニ敵数名落下傘ニ依

リ降下セルトノ報ニ依リ之ヲ搜索ノムル出動セシメ所在部隊ニ

1001

依リ射殺セシニ依リニニノ敗隊ナ	四三〇都凡准尉以下八名飛行場附近警戒援助タノ飛行 場周辺ノ巡察ヲ行フ	五八村軍曹以下九名對空對戰車集合教育並ニ射撃ヲ 對戰車由迫攻撃檢閲受檢ノ爲セフ出張中ノ處敗 隊ス	六退院 (胸膜炎) 中尉 山本 武 喜 (脚 氣) 上等兵 佐藤 勝 則	セフ陸軍病院入院中ノ處九月十日退院本日中隊復敗 セテ閣下士官以下六名ノ巡察三組ヲ派遣シ市内ノ警戒並ニ 住民ノ動靜ニ注意スセシム	八一九〇田上伍長以下六名派遣橋梁分哨(ハコシ道)ヲ ト協力服務セシム	九セフ出張中ノ八村軍曹 村山 衛生 上等兵ハ連絡船依リ 戦死
-----------------	---------------------------------------	--	---	---	---------------------------------------	-----------------------------------

ハイツ 防衛隊	セ、港入港直前敵機襲撃ヲ受テ木村軍曹ハ腹部貫通銃創ヲ受ケ村山衛生上等兵ハ頭傷有ノ救助ヲ致シ居ル際頭部ニ貫通銃創ヲ受ケ戦死ス一同乗入院シ中村鼎上等兵ノ報告ニ依リ
シヤホル 防衛隊	五、ロロロ村上等兵以下三名ノ警戒兵ヲ分屯隊西方百米附近ノ敵匪ヲシヤホル約五名通過セリトノ報告ヲ分屯隊ハ直ニ非常配備ヲ以テ至嚴タル警戒ヲセシ砂藪倉庫ニ潛入セリト云戰費費死休一、重傷一名ヲ發見セン撃退ス
九月十四日	二、ロロロ敵機約六十機來襲シタルト被害ナシ
木曜	一、午前午後共ニ全カヲ以テ對空壕ノ強化ヲ行フ
晴	二、自一五二〇至一六四〇間舍内ニ於テ山本中尉指導衛生兵急救法止
於ソマデテ	血法ノ教育ヲ實施ス
三、食後約三十分間射撃豫行演習及銃劍術基本ヲ行フ	四、退室（マリア疑） 上等兵 田 反 正義

シラジ 分屯隊	五、夜間下士官以下六名ノ巡察三組ヲ派遣市田ノ警戒ニ任セシム
シラジ 分屯隊	六、敵機空襲ニ依リ飛行隊ヨリ原田少尉以下三十一名當今化
シラジ 分屯隊	隊ニ指泊ス
シラジ 分屯隊	七、前二日ノ敵機空襲ニ現住民ハ怯ムヲ以テ「ハサツク」附近ヨ
シラジ 分屯隊	リ敵匪ノ侵入山ニ引ヒクルモノ多シ
九月十五日	主 要 事 項
全曜	一、自「ハサツク」中隊長以下二十六名糧秣彈藥ノ補給並ニ事務
晴	連絡ノタメ自動車四輛ニ依リ「ハサツク」分屯隊衛隊ニ出張ス
於ツマケテ	二、殘留者全員對空射撃豫行演習二回ニ至巨リニ時聞實施
	三、入室（「ハサツク」熱） 上等兵 佐 藤 勝 則
	四、夜間巡察前日ニ同シ
ハサツク 分屯隊	五、中隊長來隊シ左記事項ニ就キ訓話アリ
	六、時局ノ重大性ニ就テ
	七、警備ニ關スル指導

3. 訓練ニ徹底セヨ	4. 軍司令官 師團長訓示ニ就テ	九月十六日	土曜	晴	於ツマケテ	一、自ルン五洲吉川軍曹以下十名ハリス連絡ノ警乗ニ服務ス	取途アユヤタン、西南方約ニ軒附近隘路ニ於テ約ニ名ノ敵匪ヨリ	射撃ヲ受ケ交戦ニ十分ニシテ撃退シ、尚前進中シ、フラン西北方約	一軒ノ地點ニ於テ約六名ノ敵匪ノ射撃ヲ受ケタルモ交戦約十分	ニシテ撃退ス、本戦斗第一回交戦中左記負傷者ヲ出ス	兩手指擦過銃創、上等兵、築地、幸吉	左前膊(内側)左手指擦過銃創、馬原三喜男	中隊留前外ニ同行ノ隊員四名輕傷シアリ	ニ殘留者全員午前午後各二時間對空射撃豫行演習ヲ行フ	ニ夜間巡察前日ニ同シ	四八、部隊長來隊將校ニ對ニ對米戦斗其他ニ就テ一時間指
------------	------------------	-------	----	---	-------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	--------------------------	-------------------	----------------------	--------------------	---------------------------	------------	----------------------------

	道七五
シホール 防衛隊	五、ニミロリ郵橋梁分哨(田上伍長以下六名)より同所へ協力勤務中 ノPC隊員一名執銃、儘逃走セン旨報告ニ來ル 六、浜崎曹長以下七名治安確保ノタメヨリ「東北方約三軒カンラン水 附近」討伐ヲ行フ狀況悪化シ今迄皇軍ニ協カン居名住氏モ日 一日ト減シ皇軍ヲ見テ逃走スル如クナレリ
九月十七日	主 要 事 項
日曜	一、一政ニ舍内ニ於テ休務
晴	二、渡辺隊山田小隊 上等兵 橋 本 次 義
於ツマケテ	右ノ着大隊本部勤務ヲ命セラル(本日附)
九月十八日	三、夜間下士官以下六名ノ巡察ニ組ヲ派遣シ市内ノ警戒ニ任セシム
月曜	主 要 事 項
於ツマケテ	一、山田中尉以下三十名尾作命甲第三主號ニ基キ桑幡隊長 ノ指揮ニ入りロ九ヨリ出發ツルスリヤカ「附近」討伐ヲ實施シ六ヨリ

東京小津館

1006

敢隊ノ戰果敵捕虜ニ名	二、本月ヨリミロビヤヤ「地區空襲警報解除セラレ警戒官制トシ	三、隊長訓練隊ノ教練ニ出場ス	四、ハロウ皇軍將校トPC隊將校ト懇談會食ノ行ハル隊長	以下將校四名出席ス	五、下士官以下六名ノ巡察三組ヲ派遣シ市内ノ警戒ニ任センム	六、五三〇山田小隊吉野軍曹以下五名トトロン渡辺隊ト連絡タメ	出發ス	尾作命甲第三十二號 收奉	一、「トスリヤガ」附近敵ノ空襲後執拗ニソマゲテ南方地區ノ	分七隊ニ對シ夜襲ヲ來ル其行動極メテ活潑ナリ	二、部隊ハ一部ヲ以テ此ノ敵ヲ擊滅掃蕩セントス	四、小田隊長ハ歩兵一小隊ヲ現在地ニ於テ菜畑隊長ノ指揮	ニ入ランムハシ
------------	-------------------------------	----------------	----------------------------	-----------	------------------------------	-------------------------------	-----	--------------	------------------------------	-----------------------	------------------------	----------------------------	---------

九月十九日	主 要 事 項
火曜	一日ヨリヨリ 明鬼塚軍曹以下七名ツマケテ、一ツマケテ、電話線補
晴	修作業警護、任ス、
於ツマケテ	二ヨリヨリ中隊長米軍戦法對米戦斗並ニ對スル各等ノ覺
	悟ニ就テ學科一時間
	三、一ヨリヨリ山本中尉指導ノ下ニ對テ射撃練習並ニ習得ノ分
	以テ九ヨリヨリ山本中尉指導ノ下ニ對テ戰車内迫攻撃班ノ學科並
	ニ基本教育三時間
	五、本部疎開ノタメ中止中ヨリ時號教育開始ニ付修業兵六名
	通修ス
六、夜間巡察前日ニ同シ	
九月二十日	主 要 事 項
水曜	一、トロン渡辺隊ニ連絡行ハル吉野軍曹以下五名セリ、取隊ス
於ツマケテ	二、九ヨリヨリ中隊長ノ許ニ集合、今次決戦ニ關スル尚集團長ノ訓

陸 軍

示傳達並教育上就テ注意アリ	三ノ五ノ桑幡除廣場ニ於テ戰病死者十二體（内ニ休、船舶ニ失命ノ合同慰靈祭ヲ行ハル警備其他ニ支障ナセシメノ全員参加列ス
四ノ九ノ日事務連絡ノ出張ルハ村九雄軍曹 村山重盛衛生	上等兵ハ九日正日セノ巻於敵ノ空爆ニ依リ戦死ヒ旨通報アリ
仍テ本日部隊遺骨全部ニ付経過ヲミテ向テ送達セラルニ依リ石	兩白ノ遺骨由ラ發送ニ向ハ村山兩名ノ遺骨ハ付テ受領
マニラニ送達スル由	五ノ食後全員ヲ對空壕ニ強化ヲ行フ
六ノ退室ハテノ熱	上等兵 佐藤勝 別
七ノ夜間巡察前日ニ同シ	八ノ渡辺隊並リコナラ地區警備ノミ到着同地ニ宿營ス
九ノ兵略曹長以下三名コナラ	五ノ附近敵情搜索並示威ノミ行
軍人	

九月三日	主 要 事 項
不 曜	午前中山中尉指導射撃對戰車肉迫攻撃班ノ動作訓練
晴	三巴リンビン今此隊電話不通ニ付補線並ニ糧秣補給（一月分）
於ツマゲテ	加給函支給ノタイ隊長以下一七五〇出發一七五〇取着ス
	隊長ハ上司ノ訓示事項其他諸注意ヲ傳、取途不意ニ敵襲
	ヲ受ケタル場合ノ訓練ヲ行フ
	ミフルスリヤガ今此隊敵襲ニ関シ増援ノタメ山田中尉以下四十四名
	（四九一分隊ニ召テ合ハ）二二〇討伐ニ出發ス
	四夜間巡察前日ニ同シ
防衛隊	五十四〇一七五〇實彈射撃教育ヲ行フ
九月五日	主 要 事 項
金 曜	一前日、ルスリヤガ附近討伐ニシタル山田中尉以下一七五〇無傷取隊ス
曇小雨	二隊長午前中訓練隊教練指導ニ出向ス
於ツマゲテ	三一二〇ヨリ將校ノ部隊長ノ許ニ集合諸注意ヲ與ヘラル

四、五、六、日、松本少尉指導鐵條網穩密破壞動作ノ教育ヲ行フ	五、夜間巡察前日ニ同シ	日々命令	一、陸軍中尉 山本武喜	在留那人ノ營豫定者教育教官ヲ命ス	主 要 事 項	凡月三日	土曜	晴	於ツマデ	三、退室（蟲様突起ノ疑）兵長 大 倉 正	四、夜間巡察前日ニ同シ	五、防衛隊長永畑曹長バリス連絡者ト同行アエタシニ出張	部隊長及中隊長注意事項ヲ傳達ス	六、バリス連絡アリ砂糖アルフルヲ運搬ソマケデニ取還セル	防衛隊
--------------------------------------	--------------------	-------------	--------------------	-------------------------	----------------	-------------	-----------	----------	-------------	-----------------------------	--------------------	-----------------------------------	------------------------	------------------------------------	------------

九月二十四日	主 要 事 項	日曜	晴	於ツマゲテ	二尾作命甲第三十四號ニ基キ渡辺隊ヲ臨時配屬中、山田小隊 (山田中尉以下二五名)ヲ現所屬ニ復取セシメ、アユヤン、今北隊 後藤伍長以下八名、シラシ、今北隊、永畑曹長以下五名、又々警備 ヲ渡辺隊ニ交代シ、ハ。ハ。隊ス	三、九月五、空襲警報發令セラル	四、夜間巡察前日ニ同シ	シキホシ 防衛隊	五、浜崎曹長以下三五名(内PC一四在留邦人五ヲ含ム)ツマリヤ、附近 ノ討伐ヲ行フ、五。ハ。ハ。出發、天。ハ。ハ。戰果ナシ	同地附近ハ老幼者ノミアリ、若者ハ全部敵匪ニ合流セル如シ	九月二十五日	主 要 事 項	月曜	一、午前ハ。ハ。ハ。中隊長精神訓話(今次決戦及對米戦斗ニ
--------	---------	----	---	-------	--	-----------------	-------------	-------------	---	-----------------------------	--------	---------	----	------------------------------

東京小澤船

1012

曇驟雨	就キ一〇三ヨリ松本少尉指導對空射撃動作ヲ行フ
於ツマケテ	三隊長ハ一二〇部隊長ノ許ニ集合第二期教育ニ関スル計画及 對空設備ノ強化等ニ関シ指示ヲ受リ
	三九月分各人一發實彈射撃成績ヲ報告ス
	四山本中尉本日ヨリ當分ノ間午前中在留邦人教練指導出場
	五夜間巡察前日ニ同シ
ハス 部隊	六六〇ヨリ福岡分遣ニ對シ機ニ銃ヲ有スル敵約五〇海岸及山 地兩方面ヨリ射撃シ來ルモ被害ナシ
九月二十六日	主 要 事 項
火曜	一午前中隊長指導對空設備強化ニ任降雨ノため兵舎ノ一部
晴後雨	改造
於ツマケテ	三將校普及教育一三〇ヨリ部隊本部ニ於テ對戰車肉迫攻撃 ノ教育ヲ村川中尉實施ス
	三シチホルル分防衛隊ニ於テ討伐中戦死四名（内一名月鏡

社員、負傷二名（内一名現地人密偵）ヲ生シタル首部隊本部	ヨリ通報アリ	戦死 上等兵 大野 定義	（桑橋隊ヨリ臨時配属）兵 長 金 瀬 米 春	一等兵 田 中 鶴 男	負傷 軍 曹 友 田 義 高	上等兵 清 野 熊 志	シキホル 防衛隊 四、一、三、〇、ラ、レ、ナ、東南方約一軒ノ地、點ニ於テ、ハ、サ、ツ、ノ、今、屯、隊、ヘ、通	絡ニ行キタル友田軍曹以下敵匪ノ襲撃ヲ受ケ前項死傷	者ノ外日鎖社員（技師）二名戦死密偵一名重傷セリ	九月二十七日 主 要 事 項	水曜、シキホル、負傷者還送船、〇、三、〇、入港隊長以下二名機	雨 橋ニ出迎、本部桑橋隊出迎者、ト共ニ露管地醫務室ニ	於ツマケテ 負傷者二名ヲ收容ス
-----------------------------	--------	--------------	------------------------	-------------	----------------	-------------	--	--------------------------	-------------------------	----------------	--------------------------------	----------------------------	-----------------

東京 小津 稿

ニシキホル戦死傷者交代要員及病氣治療ノタメ中隊復飯

中ノ者ヲシテホルレニ派遣ス

大野定義 交代 上等兵

田上米光

病氣治療中、者 兵 長

大倉

上等兵

志
垣
璽

桑幡隊ヨリ交代者

軍曹松本
衛生上等兵

政男 外三等名

右○四○五○出發○八○無事到着

三、都丸准尉以下二十五名、屢作命甲第三號ニ依リ、バリスニ防衛

隊連絡、警乗並^二附近討伐^ノ多^ク PC隊長以下十九名^二便乗

セシメ自動車ニ依リハハ出發ハス
上防衛隊坂本隊ニ至

リ 楯 巻 人

四殘餘吉川軍曹指揮之兵舍改造作業、行つ

五、將校及內務掛准尉八三〇部隊長，許二集合對空射

九月十九日	撃部隊連絡規定 保育規定ノ説明及下士官以下ノ進級ニ就テ指示アリ 大夜間巡察前日ニ同シ
九月十八日	主 要 事 項
水曜	一、バリス出張中、都孔准尉以下三十名（坂本隊學兵長以下五名含ム）ハロニロ分屯隊出發、PL隊長以下三十名ト協カンバ
曇	イスノ西北方約八杆「カンラン」部落ヲ夜襲シ（戦果捕虜三名タイプライター一）家屋約四十棟ヲ焼却ノ後同地ヲ撤退シ、坂本隊ニ取着一回シ、同地出發途中各分屯隊ニ連絡シ、セロ、無事取隊ス
於ツマケテ	ニ、殘留者ヲ以テ兵舎改造作業ヲ行フ
九月十九日	三、夜間巡察前日ニ同シ
金曜	部隊長口達命令 事項 在任命令 號ニ依リ中隊長ハ小田隊（附一分配屬）

陸軍

及訓練隊ヲ合セ指揮シフルスリヤカ「バリビニン」ハコン附近討 伐ヲ兼ネ行軍訓練成ノタメハ「ハ」出發一「九」無事敵ヲ屠ス 該地區住民ハ去ル九月十一日敵ノ定襲以來山地ニ遁入シ始 ント人影ヲ見ズル狀況ニテ戰果トシ	二 陸軍軍曹 龜 塚 正 則 「一」「九」終ニテ爆藥取扱教育ノタメ「九」出港ス	三 陸軍上等兵 石 山 猛 中隊郵便將士及為晉送全事務ノタメ「九」出港セン	「九」出港ス 四「九」水源也今哨長伍長西山孝次巡察中敵ト大戦反上 將骨々折貫通銃創ヲ受クニ「九」坂本隊以下八名同地ニ 急行西山伍長ヲ收容ス	ハイス 防衛隊 九月二十日 主 要 事 項	土曜 「九」ハイス坂本中尉ヨ西山伍長重傷電話ニ接シ直下
---	--	--	--	--	--

晴	二部隊長、報告ス
於ツマケテ	石收容ノミ松本少尉以下ニ其名外ニ本部山本衛生曹長自
	動貨車ニ依リハ。。出資一四。。販賣シ西小佐長、直ニ患病
	療養所入院シ左腕ニ博部ノ切斷ス
	ニ殘餘ノ對空壕ノ整備強化ヲ實施ス
	云一三三。將校ハ本部ニ集合普及教育ニ參加
	四夜間巡察前日ニ同シ
	日々命令
	一陸軍軍曹
	藤達也
	給一等給
	陸軍曹長
	今村尚
	給三等給
	陸軍軍曹
	山川陸海
	同
	鬼塚正則

東京公庫

										陸軍	
										</	

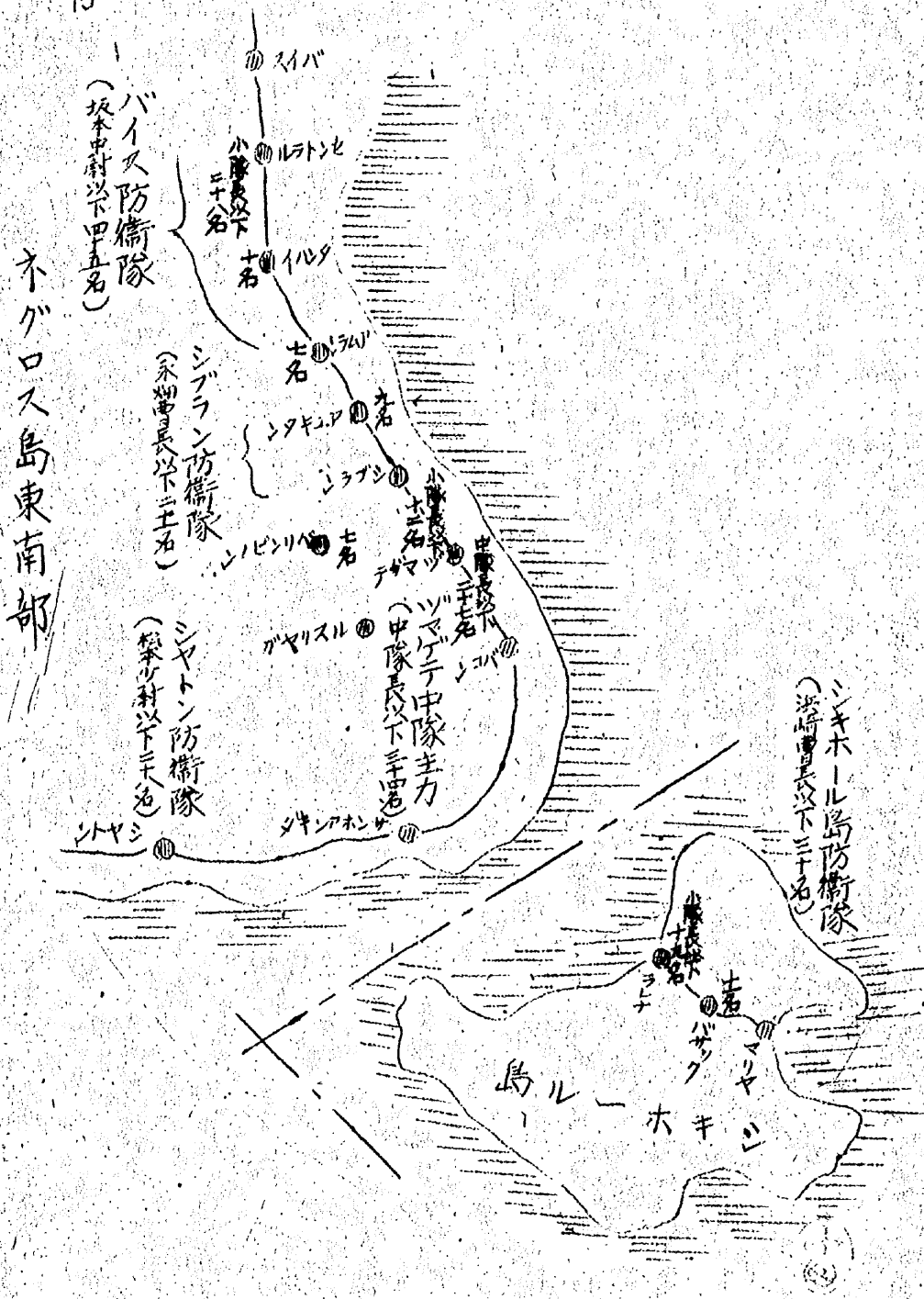
[illegible]

(日本標準規格 JIS 4)

1020

中隊警備地域兵力配置要圖 (九月一日現在)

別紙第二



別紙第一

警備地区別配置人名表

九月一日現在

考		備		上		兵		軍		中隊長	中隊長
右ハ中隊主力ヨリ 派遣ス		對空射撃團司令部 並ニ檢閲ノ多シ 遣出張中ニ 木村軍曹以下 九名ナリ		中緒江佐田中中水石立齊廣上山田谷清志桐園古豊永岡田藤上木坂志吉林今		島方口伯畑村村上山岩藤田田口尻田水垣原田庄田田山上崎村村門村		良尚一定幸靜馬惣勇正武幸清元武雄勇正義共光三助大義		中隊長 小田又雄	中隊長 小田又雄
中石小 村井山 敬一 郎良武		富東永倉宮山井原木石衛堀竹吉渡横永村菅湯立藤河荒福飛井赤櫻一甲坂蛇奥竹宮學小西山丸		永井岡本田手田村山藤部中田邊田田上野岡崎内瀬田島上塚井瀬斐井島村田川西山川岡		九正一忠直高秀勝光義時俊明森廣申義典藤電熊末又敷九福三一光重金夏一孝陸正		一孝夫雄登喜雄雄基弘雄雄雄考義次喜雄光市喜造廣次馬男義友天義厚信藏雄藏久正成次海臣		中隊長 坂本正	中隊長 坂本正
荒大奴西山林本藤半橋中北和高後富松垣後原		木森湯田本田田林島木村山田大藤重木藤田孝畑時良		宮渡鈴橋配屬無線		村森築窪金村馬田村片潮藤柿宮林松黒清安丸管鬼八		重共幸光喜行力彌後豊忠行義大辰丑正陸		少隊長 松本秀徳	少隊長 松本秀徳
藏喜男喜郎人共晋雄雄武詮雄郎光八義行紀郎		清松配屬無線		田菊立清三金友配屬無線		片中小田井小篠江松廣寺大清江土亀福大宮藤		平川林畑上西原崎下瀬岡野藤藤田田島倉木		曹長 浜崎直記	曹長 浜崎直記
義清男里		中川木野満瀬田義		鶴知寅態生末義		揮一万定光光秋一松定常秋順達		等行都了義雄喜義義夫厚義雄廣繁龜喜正勉也			